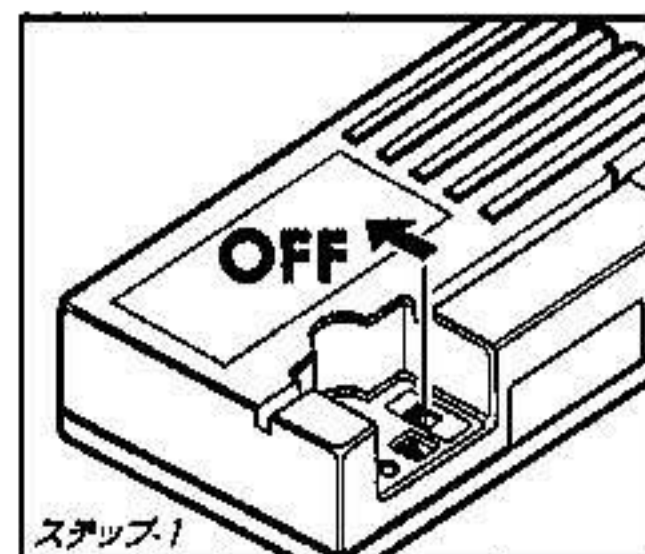


EGS-M2・M2k・G2・タイプE フットブレーキ検出方式への変更方法

ステップ-1

一旦、本体のパワースイッチを切ります。

既に付属の安全センサーケーブルが本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。



ステップ-2

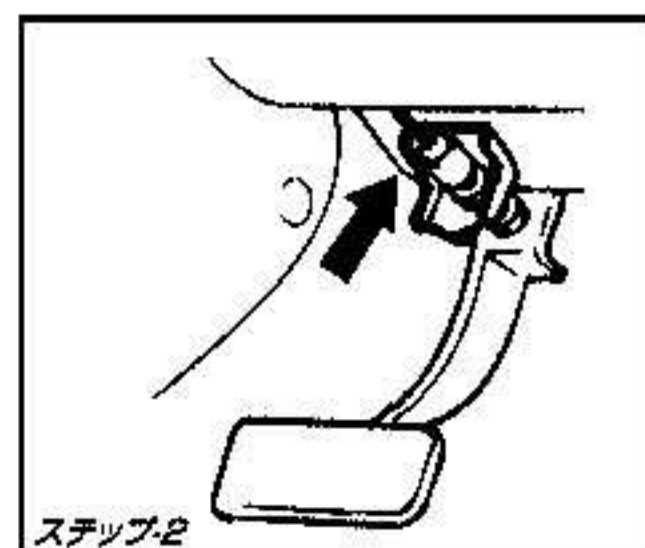
車のフットブレーキスイッチを探します。

フットブレーキスイッチはブレーキペダルの根元付近にあります。



メモ

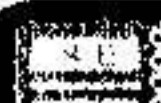
フットブレーキとは、フット式パーキングブレーキの事ではありません。



ステップ-3

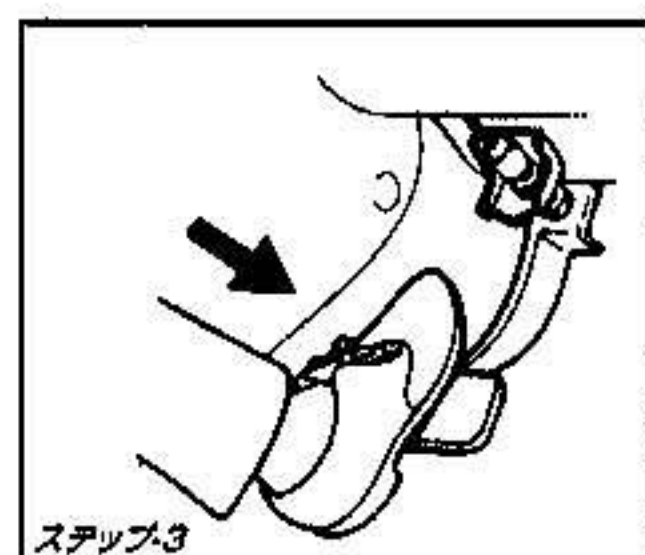
ブレーキペダルを踏んだとき12Vになる線を見つけます。

フットブレーキスイッチから出ている線の内、ブレーキペダルを踏まない時は0V踏んだときに12Vになる線を見つけて下さい。
(必ずテスターをご使用下さい。)



メモ

ストップランプを点灯させるための線です。



ステップ-4

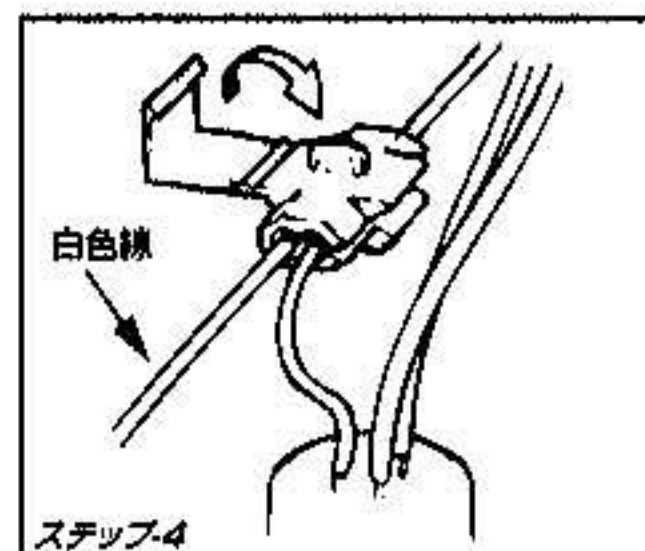
安全センサーケーブルの白色線を接続します。

安全センサーケーブルの白色線を、ステップ3で見つけた線に、付属の電極タップで接続します。



注意

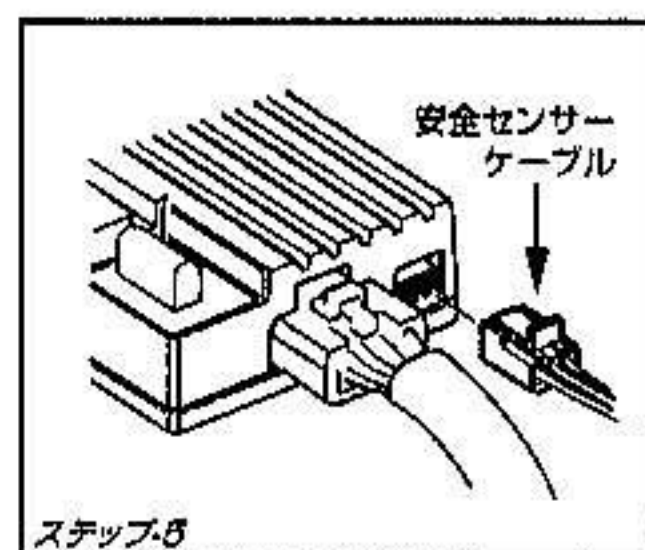
接触不良が起きない様に確実に取り付けて下さい。フットブレーキ検出がうまく行なわれない場合があります。



ステップ-5

安全センサーケーブルを本体のコネクター部(CN2)に接続します。

モードスイッチの1番をONにします。



ステップ-6

本体モードスイッチの1番をONにします。

スイッチが小さい為、ボールペンの先端等で行って下さい。

OK!

以上でフットブレーキ検出への変更は終了です。

パワースイッチをONにしてリモコンでエンジンを始動させ、フットブレーキを踏んだ時にエンジンが停止する事を確認して下さい。